



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校

「ストレスマネジメント講話」が行われました

12月4日の七校時に中学生全員を対象としたストレスマネジメント講話が行われました。ツカサヘルスケアホスピタルの中尾先生を講師にお招きし、ストレスとは何か、ストレス反応とは何か、ストレスへの対処の仕方はどうしたらよいか丁寧な説明をしていただきました。

中学生は、成長期特有のストレスや学校生活でのストレスそして、寮生活のストレスなど、日々様々なストレスと向き合って生活しています。生徒一人一人ストレスの感じ方や、解消の仕方は異なります。また、ストレスに対して意識して対処してい

る場合や無意識の場合もあります。

今回の講演を体育館で行ったことで、実際に体を動かしながらストレスへの対処の仕方を学ぶことができました。

生徒からは、「とてもリラックスすることができた。今日教えていただいたことを今後の寮生活でも実践していきたい。」「二つ目に教えていただいた、床に横になる方法はすごく気持ちよかったです。気持ちよすぎて時間を忘れそうだった。」などという感想が聞かれました。理解しながら、上手に対処してほしいと思います。



高校

「高校1年生、フィールドワークで大隅地域を探索」

12月6日に、楠隼高校1年生が「フィールドワーク」を実施し、大隅地域で探究活動を行いました。これは楠隼高校の特色あるカリキュラムの一つ「肝付学」の一環で、7月に実施された「ミニフィールドワーク」から調査範囲を広げ、自らの興味・関心を深めていくことで「リサーチ能力」を高めていくことを目的としています。大隅地域の各施設や企業の方々に協力いただき、A歴史コース、B産業コース、C農業コースの3コースに分かれて学びました。

Aコースでは「志布志埋蔵文化センター」「志布志城跡」「東九州自動車道建設現場」を回り、志布志市の歴史と発展について、史跡と現代の建築技術さらに流通という視点から学びました。Bコースでは「山佐木材」「高山チョーヤソーイング」「志布志石油備蓄基地」「第一機械産業」を訪問し、地域の特色を生かした製品作りや、エネルギー問題、そして、今後の企業のあり方についてお話をうかがいました。Cコースでは「大隅加工技術研究センター」「山田水産」「農業生産法人さかうえ」を訪問し、第六次産業といった新しい農業・水産業のあり方や、後継者問題・諸外国との競争といった農業の抱える課題について知ることができました。

生徒たちはこのフィールドワークを通して、大隅地域の豊かな自然と歴史、地域の特色を生かした他にはない産業を間近で体験し、地域に根ざした視点で、社会の未来を考える機会を得たようでした。また、各施設・企業で働く方々の生の声が生徒の心に響き、地元の方々の郷土に対する思いを改めて実感することができました。ご協力いただきました各施設・企業の皆様、本当にありがとうございました。

